

第6回 交野市環境基本計画策定ワークショップ 摘録

1. 日時：令和3年11月29日（月）14:00～15:00
2. 場所：交野市役所別館3階中会議室&ビデオ会議
3. 出席者：

黒田 市長
有岡 理事

濱 中 委員長（環境部長）
足 立 副委員長（公募市民）
玉 井 委員（公募市民）
田 中 委員（大阪府環境農林水産部エネルギー政策課）
幸 田 委員（地方独立行政法人大阪府環境農林水産総合研究所生物多様性センター）
西 委員（交野市工業会）
荒 賀 委員（交野市商業連合会・代理出席）
藤 田 委員（交野里山ゆうゆう会）
多田羅 委員（交野市環境基本計画推進会議・自然部会）
浅 田 委員（交野市環境基本計画推進会議・エコ生活部会）
北 迫 委員（交野市環境基本計画推進会議・まちづくり部会）
久 保 委員（交野市環境基本計画推進会議・エネルギー部会）
南 委員（企画財政部次長）
林 委員（都市計画部次長）
藤 原 委員（都市整備部次長）
伊 藤 委員（学校教育部次長）WEB
苗 村 委員（環境部次長兼環境事業課長）
中 井 委員（環境総務課長）

事務局 環境衛生課（古賀、谷口、魚住、宮根）
NPO 法人木野環境（丸谷、土井、井上、坂本※Web 出席）

4. 議事

1) 開会

- ・資料確認（3点）
- ・傍聴希望者の報告（傍聴希望者無し）
- ・委員の出席状況の確認（19名中1名欠席、18名出席）、会議の成立を報告

2) 環境基本計画（素案）の修正点について(事務局)

（修正点）

- ・表紙について、市域の形をモチーフにしたデザインで作成中
- ・文言修正等掲載内容変更

「エコカー」を「ゼロエミッションカー」へ
「空き家の活用」を「空き家の発生抑制」へ
「カーボンゼロ宣言」「屋上緑化」を施策部分から削除
現在、観察できている生き物一覧表を追記

- ・計画の組み立てとなる章立てについて変更する予定であることを説明
- ・翌年1月に市民等を対象としたパブリックコメントを行う予定であることを説明
(指摘等)
- ・算用数字と漢数字の使い分けなどの表現の統一を再確認してください。
- ・41ページの観光資源の活用部分の表現について、再度検討していただきたい。

3) 環境基本計画の素案(概要)について (木野環境)

(報告内容)

- ・中学生の意見も取り入れるなど、長期視点であることが特徴です。
- ・2050カーボンニュートラルについての転換期に作られた、10年間の計画となります。
- ・脱炭素社会では、再生可能エネルギー推進、ゼロエミッション車の導入促進が重要となります。
- ・資源循環では、4Rを基本に、ごみの分別の徹底/有料化の検討、製品プラのリサイクルなどについて記載しています。
- ・自然共生では、里山保全、田畑の計画的維持、獣害・外来種対策、自然を活用したグリーンインフラ、環境配慮型の農業の推進について記載しています。
- ・生活環境では、環境監視・調査の継続とまちなかの緑化・美化などについて記載しています。
- ・推進体制は、行政がリーダーシップのもと、市民・事業者の連携により取り組みます。
- ・進捗管理は、交野市環境マネジメントシステム監査及び環境審議会の活用を行います。

4) 代表委員からのコメント

- ・中長期的観点で幅広い分野の内容が含まれているところが良いと感じました。
- ・自然共生に関する事項が掲げられており、交野のまち合った計画になったと思っています。
- ・中学生の意見や環境保全活動に実際に関わっている者の意見も反映されていると感じられ、未来を担う人たちを盛り立てていきたいと思います。
- ・幅広い内容が掲げられており、計画を実行する事が重要となってくるので事業の推進体制が大切となる。

5) 市長よりコメント

- ・コロナ禍のなか、熱心に御議論を重ねていただきましたこと、感謝申し上げます。
- ・計画についての感想と致しましては、分かりやすく、しっかりとしたロジックのある計画になっており、このワークショップでの様々な分野の方々との議論が横軸とすれば、中学生たちによるジュニア委員会での展望は時間の縦軸と考えられ、脱炭素社会に取り組んでいけるものだと感じました。
- ・今後、パブリックコメントによるご意見など様々なご意見を踏まえ、環境審議会でブラッシュアップし、確実に実行するための体制を整えたいと思っています。

6) 閉会